



尾崎 孝志 Takashi Ozaki

日東電工株式会社 全社技術部門研究開発本部  
(2007年3月 工学研究科修了)

あきらめず、常に考える

—この仕事を選んだきっかけは？

修士1年生の時の会社説明会が、日東電工との出会いでした。実は当時、名前すら知らない会社でしたが、「さまざまな分野でトップを目指す」という会社の経営戦略に魅力を感じました。日東電工は、主に粘着テープや光学フィルムを取り扱うメーカーですが、スマートフォンや小型の携帯音楽プレーヤーなどに使われているエレクトロニクス材料や、海水を真水にする逆浸透膜など、非常に幅広い製品を開発しています。開発分野に多くの選択肢が与えられているところも、開発職を目指す自分にとって魅力でした。

—現在の仕事について

プロジェクトの内容は詳しく話せませんが、環境に配慮した技術開発に取り組んでいます。プロジェクトメンバーは、部長クラスから若手までさまざまですが、職場の雰囲気は非常にアットホームですね。日東電工は世界各地に事業拠点があり、時にはヨーロッパの現地法人と連絡を取り



合ったり、テレビ会議でアメリカの社内打ち合わせに参加し、英語でプレゼンを行ったりもします。

社会人になっても日々勉強で、専門分野以外の勉強も必要です。空いた時間があれば英語の聞き取りをしています。土日は、友人とゴルフに行ったり、時には富士山に登ったりと積極的に外で過ごすことが多いですね。

—この仕事にどんなやりがいを感じますか？

研究開発では、ミーティングでお互いにデータを出し合っ

てオープンに議論します。ミーティングは回数も多く大変ですが、実験で思いどおりの結果が出て、それが評価されたときには「続けてきて良かった!」と実感します。たとえば実験がうまくいかなくても、結果を幅広い視点から見直し、アプローチを柔軟に検証していくことが大切です。今後の目標は、今のプロジェクトで結果を出すことと、自ら提案して主体的に仕事を進めることです。



—大学では、どんな学生でしたか？

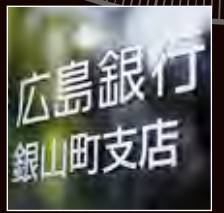
学生時代は、BOMBERSというソフトボールサークルに所属していました。キャプテンとしてチームをまとめ、盛り上げていった経験が、仕事でも生きています。野球も仕事も一人ではできません。周囲のサポートが必要です。チームづくりで培った協調性を、今でも大切にしています。

—先輩へのメッセージを!

今思うと、学生時代には多くの時間がありました。なぜ、もっと時間を有効に使わなかったのだろうと後悔しています。皆さんは、貴重な時間を無駄にせず、自分が興味を持ったことは、最後までとことんやり通してください。もしうまくいなくても、うまくいかないという一言で終わらず、どうすればできるのか、自分なりにアプローチしていく姿勢を大切にしてほしいですね。

羅針盤 compass OBG&OG 紹介

社会の第1線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身につけておくべきことは、はたまたハイシーズの準備。私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。



—現在の仕事を選んだきっかけは？

以前からお金の流れに興味があって、「お金を増やしたい」と思っていました。また大学の先生の話にも影響を受けましたね。商法の授業で、株や金融の仕組みを勉強して、資産運用に興味を持ちました。就職活動は金融業界をメインにしていたのですが、その中で銀行を選んだのは資金の決済機能や融資があり、個人のお客さまや法人のお客さまがいて、「業務が幅広いな」と思ったからです。就職難の時期で、就職活動では苦労もありましたが、念願の銀行に就職できて良かったです。

—どんな仕事ですか？

マネーコンサルティングといって、個人のお客さまの資産運用に関する相談を行っています。お客さまの大事な財産を扱うということもあり、自分の言動の一つ一つに責任が伴う仕事なので、とてもやりがいがあります。お金を扱う銀行は「厳しい業界」というイメージを持つ方もいると思いますが、みんなで助け合って仕事に取り組んでいて、明るい雰囲気の職場です。



—日々仕事の中で感じることは？

民間の会社なので、毎月目標が掲げられます。難しい目標ですが、やりがいや達成感があります。がんばったらその分、成果が数字に出ますし、お客さまに「相談しやすいね」とか「ありがとう」と言われると、うれしいです。でもスランプもあって、お客さまとうまくコミュニケーションが取れなかったり、成果が得られず目標と実績が離れたときは、「つらいな」と思うこともありますね。

—大切にしていることは？

仕事とプライベートのバランスを大切にしています。銀行業務の特質上、仕事を家に持ち帰れないので、仕事のない日は家でゆっくり過ごし気分転換しています。でも朝は日経新聞を読んで、日本や海外のお金の動きを確認しています。銀行業務には欠かせません。

—一番大切にしているのはやめないこと。目標が達成できないときは、落ち込むこともありますが、厳しい就職活動を



乗り越えてきたので、今楽しいと思えるこの職場で一生懸命にがんばっていきたく思いますね。

—広大生へメッセージを

私が「この会社が楽しい」と思えるのは、就職活動に本気で取り組み、納得できるまでやったからだと思います。今は特に厳しい世の中だと思いますが、就職活動には納得できるまで取り組んでほしいと思います。また在学中には、学生以外の大人の人も関わるように心掛けてください。私もアルバイトなどのさまざまな場で、自分の知らないことを学びました。たくさんの人と関わることで、視野を広げていってください。そして、チャレンジすることも怠らないでください。資格を取ったり、さまざまな活動に参加したり、後悔のない大学生活を送ってください。



森下 真衣 Mai Morishita

広島銀行 銀山町支店 マネーコンサルティングデスク  
(2007年3月 法学部卒業)

やりがいはお客さまの「ありがとう」

取材を終えて



取材の合間、「フレッシュな笑顔を大切に」と言われた尾崎さん。私たちと同じ20代ということで、学生時代の話や就職活動の話で盛り上がることもあれば、仕事に対する目標を熱く語る場面もあり、あらためて学生と社会人の意識の違いを実感しました。尾崎さんの言葉を胸に、残りの大学生活はいろんなことにチャレンジしていきたいと思いました。

取材・記事/教育学部2年 阿部 翠



目標に向かって日々努力を続ける森下さん。社会人には責任が伴うことや、チャレンジを怠らないことを教えていただきました。自分もこの4年間の学生生活の中で、多くのことにチャレンジし、その経験の全てを自分の糧にしていきたいと思いました。

取材・記事/経済学部1年 宮地 由宇人